



このたびの元日から続く能登半島地震において被害に合われた方々のお悔やみを申し上げます。

議員公務は1月3日から開始しておりますが、議長祝辞を交えてご挨拶とさせていただきます。

1月3日に行われた「新島村20歳の集い」では、成人年齢、飲酒可能な年齢との違いなどを踏まえて、自らの判断基準と相手を尊重した選択を述べさせていただきます。

『アルコール度数の多様化』から、各自の島度数の違いについて投げかけ、20歳を迎えた彼らがこれから多様な関わり、混ざり合いを経験してくれることを期待します。

続く6日の出初式では、能登半島地震から『いつ起こるかかわらない』、北九州市小倉で続く

火災から『一度あっても終わりとは限らない』、羽田空港の事故より『非常時であっても日常的な確認』などの教訓があったことを話しました。やはり一番頼りになるのは、常日頃から訓練・連携をしている、地域に密着した地域消防団の皆さまであると声かけさせていただきました。

2024年のご挨拶

昨年10月21日の防災訓練では、議員がそれぞれ避難所や関係各所を訪問し、指揮系統を邪魔しない範囲で避難時の手順や問題などについて観察する機会を得ました。議員ならではの視点で防災・減災などにも取り組んでいきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新島村議会議長
木村諭史

一般質問



とみた ひろあき 議員
富田 浩章

組織機構改革の
実現は？
一問一答方式

問 時代のニーズに即した組織体制にしていくことが基本である。改革を実施して、上手く機能しなかった場合や優先的な事業が発生した時などは、都度、変更していけば良いと考える。大沼村長は、組織機構改革に着手する考えはあるか。

答 少数精鋭の職員集団を構築することが理想である

が、一方で、多様化する行政需要に対応できる体制を整備していく必要がある。人材の確保に苦慮しているが、これまでに利用してい

ない求人サイトや民間との連携も含め確保に努めていく。その上で、令和6年度に概要を決め、令和7年度からの実施を目指す。

サーフィンアイランド
の復活を！
一問一答方式

問 世界に誇れるサーフィンアイランドだった新島は、観光においても重要なウェイトを占めていた。しかし、今は忘れ去られようとしている。

大沼村長は、誰もが知る新島のサーフィンレジェンドである。地元や島外サーファー、観光従事者の方々がサーフィンの復活を真剣に願っていることと思う。

容易なことではないことは十分承知しているが、ハワイのワイキキや隣島の神津島のように将来的に潜堤などの設置を計画、また、その前に杭などを実験的に設置してみるなど、他の案も含め、復活に向けて行動していただけるのか、村長の考えと意思を伺いたい。

答 かつては波があるのが当たり前で、全国からサーファーが来島し、修行のためにアルバイトなどをして長期間滞在していた。今でいう移住定住化のきっかけとなるような状況だった。しかし、現在の羽伏浦は、遠浅になるほどの砂の量が

なく、台風等で地形が整っても数日で元に戻ってしまふなど、地元さえサーフィンを楽しむ事ができなくなつてきていることに非常に寂しい思いでいた。

このような状況のなか、海岸浸食が急激に進行し始めたことで、東京都は昨年「羽伏浦海岸における浸食対策検討委員会」を立ち上げた。村はもとより、地元サーファー代表も委員として参加している。「浸食防止効果があり、かつサーフィンができる海底の造成等」ができないものかを、効果を含めて有効な手段を検討している。

取り急ぎの対策として、東京都が羽伏漁港に堆積する砂を火葬場北側付近の海岸に養浜している事業を、できるだけ南側に、また合わせて事業の継続と規模拡大を要望している。

当面は、砂が沖に運ばれて一カ所でも砂が付き、遠浅ポイントが出現するような手段を依頼していく。潜堤等の設



▲久しぶりに地形が整った2023年夏の羽伏浦

置についての質問だが、委員会でもシミュレーションした結果、あまり効果的でないことが証明されている。

問 事前に通知はしていなかったが、例えば「新島空港」、「新島サーフィン空港」、「新島港」を「新島サーフィン港」のように名前

を変更するなど、先行してイメージ戦略を手掛けていくなど考えられないか。

答 かつてのサーフィンの聖地「羽伏浦」の復活に向けて、あらゆる可能性を探り続けていく。

一般質問とは?

議員が行政に方針や施策、具体的な問題について質問をしたり、政策的提言をしたりすることです。通常は議会の本会議で行われ、質問は予め(本会議の1週間前)提出され、提出順に議員が質問します。議員の権利として希望した議員のみ登壇し、議員ごとに一括質問方式か一問一答方式が選択できます。質問事項の数の制限はありません。(令和3年9月定例から導入)

質問回数
3回まで

一括質問方式

議員が質問事項を一括して質問し、答弁者も一括して答弁を行います。

一問一答方式

質問回数
制限なし

議員が1つ目の質問事項を質問し、答弁者が1つ目の質問事項について答弁を行います。1つの質問が終わったら2つ目の質問をします。答弁者は2つ目の質問についての答弁を行います。

一般質問



おお ぬま ゆ み こ
大沼 由美子 議員



一問一答方式

新島村役場の
DX化について

問 新島村の行政サービスにおけるDX化の進捗状況は？

答 児童手当等の手続きや、介護保険事業における自治体間連携等は既にDX化がスタートしており、デジタル庁の施策に沿った自治体情報システムの標準化・共通化にも対応準備中である。

また、DX化によるデータ共有・スケジュール管理や、オンライン会議等が業務の利便性の向上に貢献している。他にも、議会中継の新しいシステムの導入により、従来の多々の問題点も大きく改善された。

問 デジタル技術の進化により、絶えず変化していくデジタル社会に対応するため、高度な専門性に特化した「DX推進課」等の設置および専門職の採用予定は？

答 デジタル化推進担当部署の設置は以前から懸案事項となっており、必要性は認識している。多々の課題や職員不足の現状を踏まえて、検討していく。



不登校児童
生徒数等について

一問一答方式

問 2023年10月に文部科学省より、昨年度の「小・中学校不登校児童生徒数」（病欠等を除く）が約30万人と発表された。新島村管内の不登校児童生徒数等や状況は？

答 「不登校」の基準は、「年間30日以上欠席したもので、管内に2名。その他、不登校傾向や登校渋り状態の児童生徒数が若干名と把握している。

問 不登校であっても、「適切な教育」を受けられる機会等を整備、提供しているか。

答 学校との繋がりを途切れさせないよう、それ

ぞれのケースに配慮した支援を心がけている。

また、令和3年4月から教育支援センターが「個別最適な学びの支援」を提供しており、成果も現れている。

Q&A ーT化、デジタル化、DX化って？

新島村においても、買物時のキャッシュレス、セルフレジが普通になり、上京時の飲食店ではタッチパネルで注文し、配膳ロボットさんにも慣れた。恐るべきスピードで世の中が大きく変化している。より良い便利な生活のためをモットーに、先進技術に翻弄され……皮肉なことに次世代を担う子どもたちは、大切な学びの庭にどんどん背を向けてしまう。子どもたちが「生き辛い」社会に、果たして明るい未来はあるのだろうか。



◀東京都庁におけるDX化の取り組み

※DXとは？
デジタル技術を活用して生活やビジネスを変えていくこと。2021年のデジタル庁発足以来、少子高齢化社会の人口減少による人材不足に対応すべく、地方自治体の迅速なDX化が推進されている。

一般質問



あや 綾 とおる 議員

式根島でも
眼科専門診療を

一問一答方式

問 必要な医療を適切な時に受診できるようにすべき。住民の願い、いつまでに実現するか。

学校給食費無償化へ、
公約実現の第一歩！

一問一答方式

問 給食無償化について、4年半、6回の質問で取り上げた。村長は「学校給食無償化等の子育て支援」を公約で掲げた。いつ実施するか。

答 子育て世帯の負担軽減のため、早急に導入し、令和6年4月より、継続的施策として実施する。財源としておむね1千万円を見込む。

式根島でも
眼科専門診療を

一問一答方式

問 必要な医療を適切な時に受診できるようにすべき。住民の願い、いつまでに実現するか。

答 式根島での実施は必要だ。医師の確保、機器の導入含め、実施に向け準備を進める。6年度計画、7年度実施を目指す。

問 一年以上空白になる。医師の確保は目途がある。機器の購入は、前倒しできないか。

来春の保育所は
万全か

一問一答方式

問 村長の公約にある「誰でも保育園」とは。

答 就労要件を問わず1〜5歳児の保育を考えている。検討・具体化を図る。

問 待機児童の発生が連続してはならない。保護者・児童の未来がかかった問題だ。

答 10月の保育士採用で、待機児童は解消した。4月の転出入があるが、万全の準備を進める。

島外受診助成、
全住民対象に

一問一答方式

問 制度創設から5年を迎える。「全住民を対象とした」制度を目指してきた。村長は「通院助成の拡大」を公約で掲げた。

答 医師の判断のもと、年齢制限なしに助成する制度を考えている。助成

金額・回数などの拡充を目指す。6年中目途に制度設計、7年度中目途に改正考える。

内視鏡を選択できる
「胃がん検査」を

一問一答方式

問 以前、内視鏡検査を選択できるよう提案した。アンケートがされた。内容は。

答 検査方法の希望を聞いた。回答82名、内視鏡検査46名、エックス線検査19名、その他17名。

問 都保健医療局の資料では、内視鏡検査の自治体で、がん検診受診率が高い傾向だ。多くの住民に検査を受けてもらえるよう、内視鏡の選択を。

答 アンケートでは、内視鏡希望が多かった。委

託医療機関と協議し、検査方法等を検討する。

会計年度職員に
最低賃金適用を

一問一答方式

問 総務省通知で、会計年度職員の「適切な給与決定」として、最低賃金を踏まえること、となっている。

答 年度内是正を目指す。5年4月にさかのぼり差額支給する。

村営住宅入居時の
保証人を不要に

一問一答方式

問 法律も都条例も保証人条項を撤廃した。村も条例改正し住民周知を。

答 免除条項があり、現在改正は考えていない。

一般質問



議員 佳利保 久小

！
災害時の応援協定を
距離的に離れた自治体に！

一問一答方式

問 南海トラフ地震発生時には東京諸島の町村も新島と同様の被害が想定されるため、新島村と距離的に離れた自治体との応援協定を結ぶ検討をしてはいかがか？

答 災害時応援協定においては、東京都と都内の区市町村間で災害時等の協定を締結している。全

国的に応援協定を広域に設定する自治体が増えていく。当村においても地域の設定を含め、防災会議等により今後検討を進める。(村長)

問 庁舎の被災やマンパワー不足が想定される新島村での被害では、医療に必要な資機材や生活物資の提供、復旧活動に必要な職員やボランティア派遣などの人的な支援も必要。援助を受ける「受援体制」を整えることも重要。

答 災害協定は助けてももらうだけではなく、協定を結んだ先が災害に遭った時は協定に従って新島村も支援物資を送ったり、職員を派遣したり、相互関係になると思う。その辺もじっくり考えたい。(村長)

！
新島高校にも
学生寮を！

一問一答方式

問 離島留学生の受け入れを継続するためには、ホームステイ先の確保が課題。また、式根島生の連絡船にしきでの通学は、天候や海上状態に左右される。寮ができれば、留学生の募集枠の増加、式根島生の利用も想定できるのでは。

答 ホームステイ方式でスタートし、数年の継続と実績を踏まえながら寮方式に移行していきたいが、ホームステイ先の新たな確保には限界がある。新築にこだわらず、寮方式に向けた具体的検討を早めていくことを望んでいる。また式根島からの生徒についても問題調整が必要だ

が、新島高校への通学生が増えることは学習環境の確保と活性化、この先の新島村の地域づくり全般においても大きな意義を持つ。新島高校を所管する東京都にも一層の離島留学取り組みの推進、また支援等を要望しつつ、連携を強めながら、離島留学の充実を努めたい。(教育長)

答 学生寮の必要性は十分に認識している。式根島から新島高校に通うのも離島留学の一つだと思う。また、島の中学校を卒業し都内の高校に進学する学生の支援というものも考えていきたい。(村長)

ひびき 新島高校太鼓部は同好会から始まり、25年の歴史を持つ。今年度の都大会で悲願の金賞を初受賞。個人賞受賞生徒も最多数輩出し、少数精鋭でがんばっている。今春部員数が激減し存続の危機になったが、離島留学生含む1年生が数名入部した。生徒が増えれば入部希望者も増えるだろう。太鼓部の歴史を存続させるためにも、寮の整備を切望したい。



▲カルチャーマガジン「にいじまぐ」の新島高校太鼓部特集(QRコードを読み込むと記事を読めます)



一般質問



よし み かず ゆき 議員 吉見一之



山林や不耕作農地等の伐採木・倒木処理をどうするか？

一問一答方式

問 新島の山林は間伐も行われてなく、以前の大型台風による大量の倒木も放置されている。このままでは地滑り等、災害の原因になる恐れがある。計画的に間伐や倒木の処理を行わなければならないと思うが新島村の見解はどうか。

答 村としても現状は把

握しており改善を検討しているが、伐採については個人所有の場所も多く、慎重に対応する必要がある。

問 農地も山林化が進んでいるが、伐採木や倒木の処理については今のところ「島外搬出」または「規格内寸法に切断のうえ少量ずつ焼却施設に持ち込む」ほかに方法がない。そのため伐採が進まず「放棄」状態にあり、次の世代がその責を負うことになるのは明白。今から村全体の問題として、伐採木の仮置き場やチップ化・たい肥化等、島内での最終処理方法も併せて検討していただきたい。

答 現状では個人の負担が大ききことは理解しているのですが、改善していかなければならない問題だと考えている。内容など

吟味しながら検討していきたい。



公共事業の経済効果を最大限に

一問一答方式

問 新島における公共事業は、島の経済を支えている。最大限の効果があろう立案・計画していただきたい。

答 公共事業の経済効果は、島全体に及び、その重要さは理解している。村としても最大限の効果を念頭に計画している。

問 決算報告からも村の努力が伺えるが、それに反して住民からの評価はかけ離れていると感じる。そのことから村長は率先して、住民に対する説明努力や理解を得るための努力をするべきであると思う。

答 村長に就任してまだ「政」であり、今後十分に間もないが、私自身の考えは「住民に寄り添う村 たい。（村長）」

ひまわり

今回は従来の村政に対する批判ともとれる発言をしたが、村政の実績と住民の評価に齟齬（そご）があると感じたため発言した。というのも私を含め、議会の質問や提案等が実際に進んでいるのか？ 不可能なのか？ 不可能であればその理由等、ほとんど伝わってこないと感じたからである。

この度新村長が就任されたので、今後期待と応援の意を込め、あえて発言した。

そう言いながらも：「私も住民に十分な説明をしていないな」と気づき、猛反省した定例会であった。



▲山林化が進む農地



まえだ かつとし 議員
前田 勝利 議員

一括質問方式 組織改革と住民参加型の 行政運営について

問 村長は、今の行政に求められていることは、「動かす力」「進める力」そして「住民に寄り添う力」だと言っている。住民サービスの向上のため、住民に対していくつかの政策を約束しているが、そのなかの一つ「組織改革と住民参加型の行政運営」について伺う。
必要な人材を早急に確保し、行政機能が十分に発揮

できるような組織を改革し、住民参加型の行政運営を行うとしているが、まず必要な人材とはどのような人材を指しているのか。そして住民参加型の行政運営とはどのようなものなのか。

答 人材の確保は一般行政職も含まれるが、特に

医療人材、保育人材の確保が重要であると考えている。私の目指す「誰でも保育」を実現させるためには、保育人材の確保が必須となるので、しっかりとした人材を確保し、対象年齢であれば誰でも安心して預けられる体制をつくっていく。

医療人材についても診療所やさわやか健康センターの専門スタッフを充実させるとともに、社会福祉協議会やまゆう会などと連携を取りながら進めていく。

住民参加型の行政運営には、住民の声を聞き、それを十分に確認し、事業を進めていくうえで大きな判断材料としていくことが大事。住民からの声を積極的に拾い、それを必ず検討の対象とし、スピード感をもって対応していく。

問 組織の改革は、村の将来を見据えたうえで、住民サービスの向上をはかることが大事。窓口業務などは住民が困らないような整備が必要だし、職員のレベルアップも必要になると思うが。

答 組織の改革は、住民がわかりやすい組織とし、住民サービスの向上がはかれなければならないと考えている。住民に不便を感じさせないような対応ができるよう、慎重かつ積極的に進めていく。



▲組織の改革は、住民サービスの向上が必須